

【著者紹介】

名前：牧田 翠

Twitter：@MiDrill

サークル名：でいひま

主な活動ジャンル：エロマンガの統計的分析

所属鎮守府：横須賀鎮守府（まきたみどり提督）

好きな艦娘：正妻は榛名さんですが夕立ちゃんに浮気しています。ほいほいかわいい。そして夕立ちゃんを始め、その他の艦娘のところに通うところを目撃して青ざめた顔しつつ「榛名は大丈夫です」と健気に耐えようとしているのに他の提督に優しくされて身体も心もどんどん落ちていってしまう薄本ください（エロマンガ脳をこじらせているひとこと：毎度おなじみ、「エロマンガ統計」の牧田です。エロの定量化を目指した統計エンターテイメントやっています。今回も色々頭の悪いデータ（当社比）を用意してるので、エロも統計も楽しんでください！

艦これ成人向け同人誌 200冊の描写を 手作業で集計せよ！



イラスト：塩野まき



艦これの成人向け同人誌の描写内容はどうなってるか 商業エロマンガと違いはあるか調べてみます

今回の「統計これくしょん」企画担当にして「エロマンガ統計シリーズ」を書いている牧田翠です。「エロマンガの描写内容を手作業で集計して統計的に分析する」ということをしていますが、今回の合同誌でもやっぱりエロマンガの統計です。「艦これの成人向け同人誌の描写内容はどうなっているのか、そして商業エロマンガとどう違うのか」を分析していきます。私の担当ページでは、数式を使わない統計エンターテインメントを目指していきます。

■集計基準

※基本的に今までの「エロマンガ統計シリーズ」と同じカテゴリーが多いので説明は必要最小限です

【対象】

2014年5月3日に同人誌委託販売をしている「メロンブックス」の通販ホームページ (<http://shop.melonbooks.co.jp/shop/top/main/>)で「同人誌」「18禁」「ジャンル:艦隊これくしょん」で検索し、購入できる作品のうち、最終入荷日の新しいものから順に200冊を購入した。発行時期は2013冬コミ前後から、2014年4月末～5月GWのサンクリ・スパコミなどの春の即売会の時期。これら200冊をあらかじめ設定したカテゴリーごとに目視で集計した。調査員は1名。

【カテゴリー】

▼作品ごと

以下のカテゴリーについては、1作品ごとに集計する。1作品とは、一続きで4ページ以上書かれた作品のことをいい、例えば2人の作家が別の話を書いたり、同じ作家でも時系列的につながりがない場合は別作品として扱う(コピー本の再録など)。また、艦これを題材としていない作品は集計しない。

●登場艦娘 (性的・非性的)

登場する艦娘を集計する。なお、艦娘とは艦隊これくしょんのゲーム内で入手できるキャラクターを指す。改造前後は同じキャラクターとして扱い、例えば「響」と「ヴェールヌイ」は同一のキャラクターとして扱う。また、ゲームでは入手できない「大淀(任務選択時の艦娘)」,敵キャラ「深海棲艦」、およびコラボイベントで登場した「蒼き鋼のアルペジオ」のキャラクターも集計する。アルペジオキャラクターと艦これのキャラクターは同名の艦でも別の存在として扱う(「高雄」と「タカオ」は別キャラ)。

それぞれの艦娘に対して、本編または表紙やイラストで性的な姿が描かれているかを判別していく。性的な姿とは、衣服の全部または一部をつけない状態で、乳首もしくは性器の露出が描かれている場合、もしくは性交や自慰などの描写が明確に行われている状態を指す。なお、戦闘シーンにおける中破・大破による服の破れについては、その姿が小さく描かれている場合はエロとして集計しない。(つま先から頭頂部など、描かれた身体で一番長い直線が15cm未満のものを「小さい」とする)

艦これ成人向け同人誌200冊の描写を手作業で集計せよ!

●登場男性キャラ (提督・高官・モブ・ショタ・おじさん・目なし)

男性キャラの属性がどうなっているのかを調査。職業描写により「提督」「高官」、人数により「モブ」、年齢描写により「ショタ」(若い・少年等の言及描写がある場合)、「おじさん」(髭・白髪・しわ・体型などにより40代以上に見える場合)、本編で一度も瞳が描かれていない場合の「目なし」等の各カテゴリに有無を集計する。

●男性器描写 (主砲・魚雷・男なし・女なし・男の艦娘・ふたなり)

男性器がどう描写されているかを集計する。男性器の呼称として「主砲(46cm三連装砲なども含む)」「魚雷」が出てくるか、同性愛を描いている「男なし」「女なし(男の娘は男として扱う)」,艦娘に男性器が生えていて女性器がない「男の娘」、女性器もある「ふたなり」を集計する。

●視点 (男視点・女視点)

モノログ、心理描写、視点(提督一人称視点)などで男視点か女視点か判断する。なお、男の娘は男性、ふたなり娘は女として扱う。

●強姦・和姦 (強姦傾向・和姦傾向)

その性行為に合意があったかなどを判断する。暴力・脅迫・薬物・洗脳など「対象が望んでいない性行為」をメインに描いている場合を強姦とする。なお、睡眠姦など合意が得られないものは強姦とする。

●ストーリー傾向 (関係済み・恋愛・癒し・性的享楽・外的理由・演習・暴力・脅迫・催淫・触手)

ストーリーの要素を集計する。開始以前から既に性的関係を築いている「関係済み」、恋人である・恋人になる「恋愛」、提督や艦娘の疲れを癒すための「癒し」、セフレ的に性的に楽しみたいという「性的享楽」、性的行為が他の何かのため(提督の昇進のために高官に…や、艦隊のセンターに投票して貰うため…など)の「外的理由」、演習、性能試験や補給などのゲームタムを理由にして性行為を行う「演習」、性的行為をしないと自分や周囲に危害が及ぶと示される「暴力・脅迫」、薬物や催眠術などによる「催淫」、無数の触手が絡みつく「触手」などの要素を集計する。

●社会的関係性 (同等・敵対・男上・女上)

地位や年齢など社会的関係性について集計する。基本的に「提督と艦娘」は指揮系統にあるとして男が上、という事を基本にするが、「幼い提督が教えを請う」などの関係は女が上とする。また、提督以外の作業員スタッフなどについては特に命令・指導しているような描写がなければ同等とする。

●性経験 (童貞/処女・他恋人あり)

男性/女性キャラのストーリー開始時の性経験について集計する。初めてだとわかる場合(本人からの言及、破瓜描写)は童貞・処女として集計する。また、当該性交相手以外に恋人や配偶者がいる場合(浮気やネトラレ)の場合は「他恋人あり」とする



●開始時間係・終了時間係（開始・初対面／非恋人／恋人／継続的性関係、終了・恋人／継続的性関係／非恋人／性関係終了／性交関係係）

そのストーリーが開始されたとき、終了したときの関係性を記録する。途中で回想シーンが入るなどして時系列が前後することがあるが、基本的に時系列で並べた際に最も古い時点での関係性を記録する。恋人関係、性関係がどのように描かれているかを見ていく。

●主導権・動機（主導権・男／女・恋愛動機・快楽動機・外的動機）

性行為が開始される際に、どちらの性別が主導して（誘って）開始したかを集計する。また、物語開始直前から性行為が開始される直前まで、そのキャラクターが「恋愛的感情」「性的快楽」「経済的利益や社会的承認」といったものを求めていることがわかる場合、それを動機として集計する。

▼ページごと

各作品のページごとに以下のカテゴリーを集計する。見開きのページは両ページに描かれていることを同じページにあるとして集計する（左ページにのみ顔が描かれていた場合でも、左右両方のページ別集計で「顔あり」として記録する）。

●非エロ

当該ページで前戯・性交・脱衣のいずれもない場合を集計する。キスについては前戯として扱わない。

●顔・性器

登場キャラクターの顔や性器が描かれているかを集計する。顔は①目が描かれている②鼻と口、目に当たる部分が描かれている、のいずれかを顔の描写とし、「目が無いモブキャラ」は顔ありとして集計するが、「後ろ向きのキャラ」は顔があるとは集計しない。性器については、消し・モザイクの描写がある場合を集計する。

●セリフ（愛情表明・服従表明・罵倒）

「愛している」「好きだ」という、相手に対して恋愛的文脈で好意を寄せている台詞を明確に言った場合を「愛情表明」、「あなたの物です」「言うとおりにします」など、相手に対して服従をしている場合を「服従表明」として集計する。また、相手の人格などを傷つける目的で罵倒しているセリフがあった場合を「罵倒」として集計する。

●キス・前戯（キス・手→性器・口→性器）

キスや性器周辺部位に対する愛撫が描かれているかどうかを集計する。男性に対しては陰茎部、陰囊部および肛門、女性に対しては膣、陰唇部、陰核、および肛門に対する愛撫を集計する。その性器に対して、舌、唇を使って愛撫するものを口からの愛撫として集計し、掌、指を使って愛撫するものを手からの愛撫とする。

●挿入方向（上・下・左・右）

性交および肛姦が描かれている場合、男性器が誌面のどちらから挿入されているかを集計する。例えば、誌面の右に根本、左に先端（亀頭側）がある場合を「右」と記録する。ページ内の全てのコマ

を集計する。右下に根本がある場合は分度器を用いて横軸に対して40度～50度の角度で「右下から」などの判断が難しい場合は「右」と「下」の両方を集計する。（下図参照）

●挿入体位（正常位・騎乗位・後背位・側位・座位・立位・肛姦）

男性器を膣内または肛門に挿入する際の男女の位置関係をそれぞれ集計する。

膣性交に対して、男女が正対して男性が上になっている場合を正常位、女性が上になっている場合を騎乗位として集計する。男女キャラが同じ方向を向いている場合を後背位として集計する。男性キャラが座っている状態での性交を座位とし、男性キャラが立っている状態での性交を立位として集計する。また、女性キャラが身体の側面を立てている場合を側位として集計する。女性の肛門に男性器を挿入している場合を肛姦として集計する。体位については問わない。

●女性イキ回数

女性キャラクターがイッた回数を集計する。「イクのぉ」「イっちゃった」などのセリフ中での表現だけでなく、あごを大きくのけぞらせて声を出す、涎を垂らすなどをしながら大きな声を出す、ピクンピクンと大きく震えているなどを絶頂と定義し、回数を集計する。

●射精（膣内・膣外・口内・肛門・体外・避妊具）

男性器から精液が射精された描写の回数を集計する。射精された瞬間が描写されているもののみを集計する。その射精した場所によって、膣内、膣外、口内、肛門内、体外、コンドーム等の避妊具への射精を集計する。膣外とは、一度膣に挿入してから体外で射精したものを指す。



【挿入の方向について】

男性器の挿入が描かれている各コマに対し、その男性器の角度を測定する。黒い矢印の角度（下の辺を0度としたとき、50度～140度）の範囲を「下から」とする。同様にグレーの矢印の角度の範囲を「右から」とする（図示していないが上・左も同様に測定する）。

なお、「右」「下」両方が重なる範囲を設定している。その部分については「右」「下」の両方を集計する。



最多登場はイギリスで生まれた帰国子女の金剛デース しかしエロ最多の称号、ここは譲れません…!

艦娘ごとの登場数・エロ登場数を表とグラフにしました。このページの表がエロも含めた登場数順に艦娘を並べた表、右ページが艦娘ごとにまとめたグラフです。右ページは上側が全体、下側が性的描写があった数です(鳥風だと35件登場し、うち17件で性的な姿が描かれていた、という意味です)。

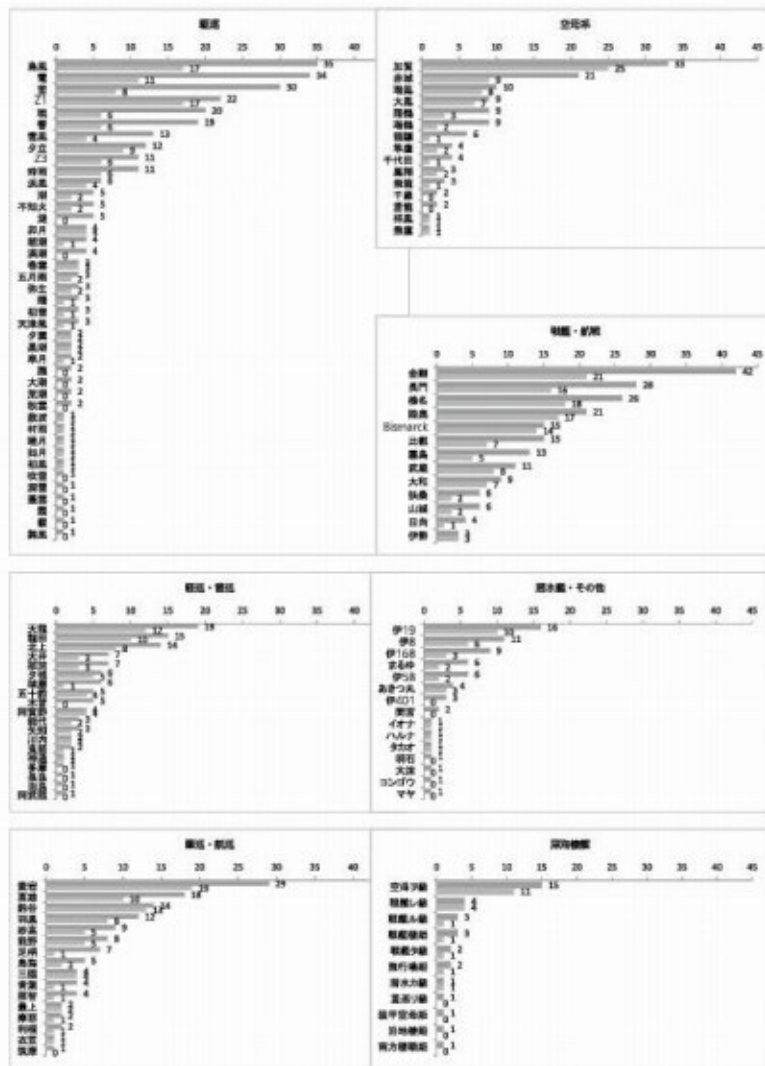
このページにある表を見ると、最多登場は金剛、鳥風、電…と続きます。ただしエロが描かれているキャラは加賀、金剛、愛宕…となり、登場頻度とエロの頻度は必ずしも一致しないことがわかります。性的+全体で求めた「性的になる割合」で、そのキャラがそういった登場をするのが見えますね。性的な割合が高いのはBismarckや鈴谷、陸奥といったキャラで、対して最多登場の金剛や次点の鳥風や電は50%以下になっています。ここからキャラ性の違いというも見てきます。それは「性行為したいキャラクター」と「艦これを代表するキャラクター」という分類です。もちろん、重なる部分は大いにあるでしょうが、金剛や鳥風、赤城、暁・響・雷・電の第六駆逐隊などは「登場数は多いが性的に描かれる割合は50%以下」であり、日常的な役割での登場も多いとわかります。性的な意味だけではなく一般的な意味で艦これを代表するキャラ、艦これの看板キャラと言ってもいいでしょう。対して、加賀・愛宕・長門・榛名・Z1・陸奥などは「性的に描かれることが多い」キャラであり、性的な意味で説がしたい・犯したいキャラであると読み取れます。

なお、表中に名前がない艦娘がいます。綾波、初春、子日、若葉、初霜、白雪、磯波、涼風、白露、文月、長月、菊月、三日月、望月、長波、陽炎、谷風、酒匂、名取、古鷹、加古ですが、彼女たちのエロ同人へのは登場ゼロでした。4月末のイベント開始ごろの本なのでそこで実装された谷風、酒匂は仕方ないとして(ただし4月末実装の天津風はいる!)、人気の偏りを感じます。時期的なものもあるかも知れませんが、サンプルの偏りもあると思いますが…

順位	艦娘	全体	性的	性的比率
1	金剛	42	21	50.0%
2	鳥風	35	17	48.6%
3	電	34	11	32.4%
4	加賀	33	25	75.8%
5	雷	30	8	26.7%
6	愛宕	29	19	65.5%
7	長門	28	16	57.1%
8	榛名	26	18	69.2%
9	Z1	22	17	77.3%
10	陸奥	21	17	81.0%
10	赤城	21	9	42.9%
12	暁	20	6	30.0%
13	天龍	19	12	63.2%
13	響	19	6	31.6%
15	高雄	18	10	55.6%
16	伊19	16	10	62.5%
17	Bismarck	15	14	93.3%
17	空母ヲ級	15	11	73.3%
17	龍田	15	10	66.7%
17	比叡	15	7	46.7%
21	鈴谷	14	13	92.9%
21	北上	14	8	57.1%
23	霧島	13	5	38.5%
23	雪風	13	4	30.8%
25	羽黒	12	8	66.7%
25	夕立	12	9	75.0%
27	武蔵	11	8	72.7%
27	伊8	11	6	54.5%
27	Z3	11	6	54.5%
27	時雨	11	6	54.5%
31	瑞鳳	10	8	80.0%
32	大和	9	7	77.8%
32	大鳳	9	7	77.8%
32	妙高	9	5	55.6%
32	伊168	9	3	33.3%
32	翔鶴	9	3	33.3%
32	瑞鶴	9	2	22.2%

↑艦これ同人・艦娘ごとの登場数

艦これ成人向け同人誌200冊の描写を手作業で集計せよ!





同型艦・同種艦と一緒に日常シーン 第六駆逐隊の仲良しぶりを見るのです！

続いて、このページでは艦種・型別に登場数をまとめました。右ページ左側の上、「艦種別登場数」からご覧ください。登場数・性的な登場数でも駆逐艦がトップとなっています。ただし、性的に描かれる割合については、実は全艦種の中でも駆逐艦は最下位となっています。性的に描かれる割合が最も高いのは戦艦、ついで重巡、という形になっています。ここから、「駆逐艦はメインキャラでなく背景キャラとして描かれる割合が高い」と考えられます。エロ同人といっても、日常描写はありますし、その日常の象徴として、駆逐艦が使われているのではないのでしょうか？ もちろん、駆逐艦は種類が多いため、ランダムに背景キャラを決めると駆逐艦になりやすい、という側面もありますが、それだけではないでしょう。右ページ中段、型別の登場数をご覧ください。戦型が最も多く登場していますが、性的に描かれる割合は低くなっています。戦型・第六駆逐隊は幼く描かれていることからロリコンホイホイと呼ばれることがありますが「要出典」、背景的な登場も多くなっていて、広く愛されていることもわかります。

話が錯綜してしまっていますが、左ページ右側、相関係数の表をご覧ください。こちらは登場に対しての相関係数を求めたもので、トップから順に並んでいます。相関係数は高いほど「同時に出てくる可能性が高い」という数値です。そして同型艦（姉妹艦）をグレーで塗りましたが、上位はほとんど同型艦で、それ以外も飛龍蒼龍の「二航戦コンビ」、伊号潜水艦など、同種の艦が同時に登場しやすくなっています。注目は第六駆逐隊。戦・響・雷・電は全ての組み合わせで相関係数が0.4以上であり「一緒に描かれやすい」ということがわかります。

実際に読んだ同人誌の中には、日常シーン・性行為の前提シーンで同型の姉妹艦との会話などを描き、その後で夜戦（略語）に突入、というパターンが何件ありました。このパターンは特に戦型で顕著で、「他の姉妹艦が寝静まったあとに、ナイショで提督と特別演習♥」という流れを複数の同人誌で見ることが出来ました。戦型の性的描写率が低いのはそういった「日常シーンでの交流が多い」という要因も関係していると考えられます。姉妹艦として有名な金剛型でも、第六駆逐隊と同じように金剛・比叡・榛名・霧島の組み合わせで多く登場していますが、戦型に比べると性的に描かれる率が高くなっています。金剛型が戦型に比べてより積極的に性行為に参加している・させられているという傾向が見えてきます。グラフにはしていませんが、実際に性的な姿が描かれる相関係数も選出しました。戦型で一番高いのが戦・響の組み合わせで0.48です。対して金剛型では最も高い比叡・霧島が0.66と、全体的に姉妹艦との傾向が見られます。同様に、白露型の夕立・時雨で0.81、天龍型の天龍・龍田で0.71、阿賀野型の阿賀野・能代・矢矧で0.70などで「姉妹艦」の傾向が見られます（球墨型の北上・大井もエロの同時登場相関は0.60と高めですが、姉妹艦とどうか、姉妹艦百合なので…）。

なお、参考までに「○番艦」についても調べてみました。こちらはわりと当然の結果で、1番艦が人気となっています。1番艦しか存在しない島風・加賀・赤城・蒼龍・飛龍などがあるので、当然の帰結と言えましょう。それでも性的な姿が描かれる割合は誤差に近い部分はありますが高い方であり、1番艦の人気を伺わせます。…ネームシップなのに順番がなかった白露さんとか陽炎さんにも愛の手を…

↓艦種別登場数

※空母系とは正規空母・装甲空母

艦種	全体	性的	性的比率
駆逐艦	283	123	43.5%
戦艦	199	121	60.8%
重巡洋艦	122	74	60.7%
軽巡洋艦	104	58	55.8%
空母系	86	47	54.7%
潜水艦	51	23	45.1%
深海艦	34	20	58.8%
航空母	31	16	51.6%
その他	12	6	50.0%

↓型別登場数

※潜水艦は海大VI型、巡洋3型、巡洋乙型、潜母型を纏めた。また登場数の少ない型は除いた。

型	全体	性的	性的比率
戦型	103	31	30.1%
金剛型	98	52	53.1%
高雄型	56	33	58.9%
長門型	49	33	67.3%
※潜水艦	46	22	47.8%
島風型	35	17	48.6%
深海艦	34	20	58.8%
大龍型	34	22	64.7%
Z1型	33	23	69.7%
加賀型	33	25	75.8%
球墨型	33	12	36.4%
陽炎型	33	14	42.4%
妙高型	32	15	46.9%
最上型	28	24	85.7%
白露型	27	18	66.7%
赤城型	21	9	42.9%
大和型	20	15	75.0%
翔鶴型	18	5	27.8%
綾波型	16	4	25.0%
Bismarck級	15	14	93.3%

↓○番艦別登場数

※その数は5番艦以降の艦と、番号なしの艦を含む

番艦	全体	性的	性的比率
1番艦	362	204	56.4%
2番艦	205	116	56.6%
3番艦	151	79	52.3%
その他	105	42	40.0%
4番艦	99	47	47.5%

↓艦娘登場数相関係数(0.4以上)

※グレーの艦娘は同型艦

艦娘①	艦娘②	相関係数	艦娘③	艦娘④	相関係数
能代	阿賀野	0.86	龍田	龍田	0.43
山城	扶桑	0.83	青龍	青龍	0.43
朝潮夕霧	朝潮夕霧	0.81	海防	海防	0.43
丹波	高天	0.81	海防	海防	0.43
響	響	0.80	海防	海防	0.43
電	雷	0.78	千歳	千歳	0.43
瑞鶴	瑞鶴	0.77	川内	川内	0.43
海潮	海潮	0.74	海潮	海潮	0.43
伊58	伊8	0.73	海潮	海潮	0.43
荒潮	朝潮	0.70	最上	最上	0.43
荒潮	海潮	0.70	最上	最上	0.43
千代田	千歳	0.70	最上	最上	0.43
利根	利根	0.70	最上	最上	0.43
龍島	比叡	0.69	三隈	三隈	0.43
大井	北上	0.69	電	響	0.43
伊8	伊168	0.69	伊19	伊19	0.43
龍田	天龍	0.68	海防	海防	0.43
夕立	時雨	0.68	妙高	最上	0.46
伊58	伊168	0.67	妙高	最上	0.46
矢矧	能代	0.66	妙高	最上	0.46
翔鶴	妙高	0.66	妙高	最上	0.46
響	響	0.63	伊201	伊201	0.46
摩耶	摩耶	0.63	響	響	0.46
Z3	Z1	0.62	千代田	千代田	0.43
伊58	伊19	0.60	伊201	伊201	0.43
武蔵	大和	0.58	Bismarck	Z3	0.43
千歳	加賀	0.57	海防	海防	0.42
那珂	那珂	0.57	伊19	伊19	0.41
海潮	響	0.57	海防	海防	0.41
日向	伊勢	0.57	北上	北上	0.41
矢矧	阿賀野	0.57	海防	海防	0.40
龍島	榛名	0.56	海防	海防	0.40
足柄	朝潮	0.56	海防	海防	0.40
足柄	海潮	0.56	海防	海防	0.40
足柄	海潮	0.56	海防	海防	0.40
赤城	加賀	0.55	海防	海防	0.40
熊野	鈴谷	0.54	海防	海防	0.40
榛名	金剛	0.53	海防	海防	0.40
足柄	荒潮	0.53	海防	海防	0.40
利根	足柄	0.53	海防	海防	0.40
羽黒	足柄	0.52	海防	海防	0.40
鹿島	霞	0.52	海防	海防	0.40
結と	映	0.51	海防	海防	0.40
雷	映	0.51	海防	海防	0.40
榛名	比叡	0.51	海防	海防	0.40
比叡	金剛	0.51	海防	海防	0.40



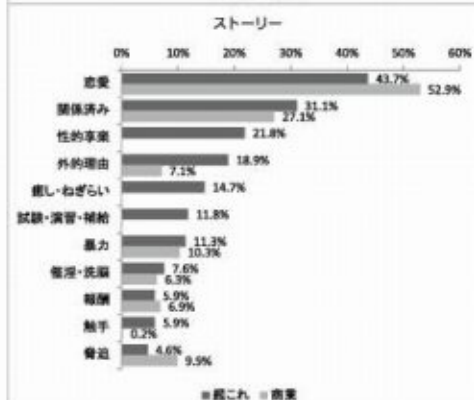
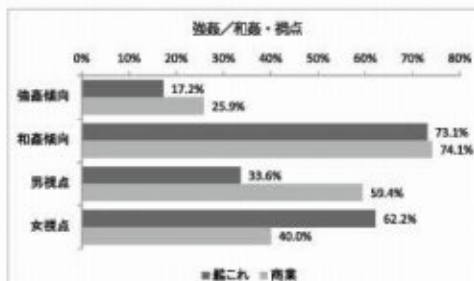
「艦娘」の魅力を描くための女性視点 提督と恋愛したり、提督を癒したりの和森が主流

こちらでは全体的なストーリー傾向とキャラクターの属性について、集計をまとめています。右ページ上、視点と強森・和森のグラフをご覧ください。全体的には強森の方が少ないという結果が出ています。抽サークル既刊「エロマンガ統計2013」では商業エロマンガ雑誌について調査しましたが、そのデータと比較しても和森>強森という流れは大きく変わることはないようです。これが艦これという題材だから和森傾向になるのか、それともエロマンガ界全体の流行(?)と和森ブームになっているのかは、他の同人誌の調査も行わなければならないでしょう。物語を誰が語っているのかという視点については、商業マンガに比べ、艦これ同人誌では女性視点、艦娘視点になる傾向にあります。艦これに限らずエロ同人は「このキャラクターだから読みたい」という動機があるでしょうし、そうなるキャラクターの立場の説明や心理描写をするために、視点を女性に置くことが多くなることも説明がつきます。ストーリーの中でシチュエーションを描写してからエロを描く商業エロマンガと、キャラの設定を活かしてエロいシチュエーションを描く二次創作同人エロマンガの違いは、どこを重視するか、という意味で、こうした「視点」などの差に現れてくると考えます。

続いて中段のグラフではストーリーの流れを恋愛が中心、という結果が出ています。和森が多いので恋愛という背景が多くなることは予測できました。が、商業エロマンガに比べるとやや恋愛が少なくなり、外的理由や、商業では設定していなかった「性的享楽(いわゆるセフレの関係)」「癒し・ねぎらい」が多いことがわかります。印象論ではありますが「疲れている提督の性欲処理は秘書艦の義務!」的な、和森だけれど恋愛ではないストーリーがいくつか散見されました。ここについてはまた後ほど確認しますが、ページ数が必要な恋愛ものに比べて「演習だ!」の一言で性行為に入れるという設定は、紙面を節約し、早く性行為のシーンに入れる、という利点があると考えられます。また、触手は商業ではほとんどなかったのが、同人誌だと多く出ていました。深海棲艦というクリーチャーと戦っている、というゲーム背景は触手愛好家にとっても使いやすい設定なのだと思います。

また、男性役キャラについてはほとんどが提督で、残りはモブ的な男たちによる輪姦が1割程度、男が出てこない百合系作品も1割程度という所でしょうか。男が出てこない作品は例えば「ガチレズ」と呼ばれてしまう大井つちが北上さんと絡む純百合もあれば、戦艦長門の主砲を火遊びで食べる陸奥さん、などのふたなりモノもありました。そうそう、主砲と言えば男性器を「主砲」「魚雷」と形容した作品はいくつかありました。なお、魚雷と称している場合は、ほとんど「魚雷の補給は大事、なの」と提督の魚雷を補給しつつ最終コマで「イク、イクのぉ〜」と叫んでいた展開であったことをここに白状いたします(データ提示なし)。

また、艦これ同人誌で「女なし」というパターンがありましたのは所謂「男の娘」モノで、男の娘と提督が絡んでいるという、男性同性愛の作品です。もちろん、男の娘×女性というパターンもあり、このあたりの性別弄りについては業の深さを感じます。なお、男の娘は全部で6件ありましたが、そのうち一件が最上クンで、それ以外の5件は全て独逸艦・Z1「レーベレヒト・マース」でした。レーベキゅんは短髪・平らな胸・ボクっ娘という属性により実装時から「絶対、男の娘だ」と呼ばれていましたが、そう考える人も多かったようです。発行時期的に考えると、レーベキゅんを初めて見た作家さんたちに「男の娘本でいこう!」と決心させたと推測でき、海外の技術の脅威を感じます。



←強森/和森と視点についての集計。例えば強森傾向17.2%とは「全作品中の17.2%の作品が強森を描いていた」という意味。強森の基準は刑法犯例などによる。視点は心理描写や最初の日常描写などで判断している。

←ストーリー内容についての集計。重複ありなため、例えば恋人との数回目的性交は「恋愛」「関係済み」の両方で集計している。「性的享楽」「癒し・ねぎらい」「試験・演習・補給」については商業エロマンガでは集計していないために空欄。なお「報酬」は「性交するかわりに艦隊のセンターに投票してね」というシチュエーションを指し、任務を終えた艦娘からの「提督のご褒美ちょうだいなのね」は含まない。

←男性役(竿役)の集計。重複ありなので「シッパ」「提督」の両方で集計している場合もある。名前・顔・個性がない・複数出てくるキャラは「モブ」として集計。一度も目が描かれないキャラクターを「目なし」として集計した。なお、艦娘も背景キャラの場合は目なしのこともあるが集計していない(性的に描かれている場合は目が描かれている)。「主砲」「魚雷」は男性器の比喩表現。ふたなり艦娘の「主砲」も含む。



基本構造は商業エロマンガと同じだけれど 「ストーリー」より「キャラ」描写を重視している？

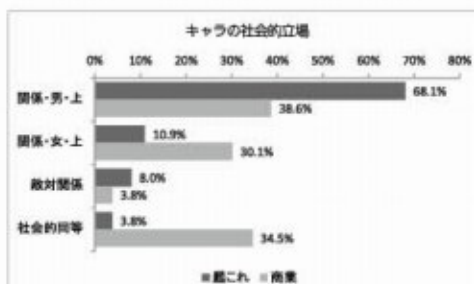
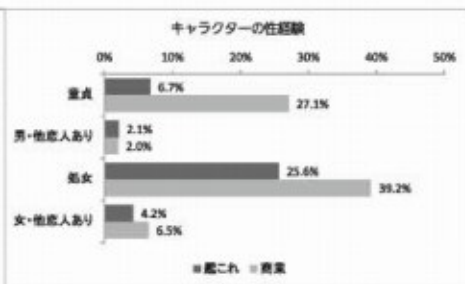
キャラクターの関係性について見ていきます。商業エロマンガと比べて時にまづわかるのは社会的立場の差が多いことです。ご存じの通り艦これというゲームはプレイヤーが「提督」となり、艦娘で構成される艦隊を指揮するものです。プレイヤーの分身たる「提督」が男性役として選ばれる割合が高いのは既に見た通りですが、そうすると必然的に「男性の方が社会的立場が上」という形になります。もちろん「新米提督（ショク）がベテラン艦娘に指導（開導）してもらおう」など、提督の立場が下の作品もありますが、そういったケースは決して多くはなく、艦これエロ同人で男性が権力的に上の立場になることは、艦これのゲームデザイン上、当然と言えるでしょう。

性行為に対してどちらが誘ったのかという主導権や、性行為をする動機に関しては商業エロマンガと大きな変化は少なく、商業・同人で同じように主導権は男女で半々程度、性行為をする動機についても商業・同人で大きな差はなく、男性も女性も多くが快楽・恋愛の動機を持っていました。また、経済的社会的報酬のための性行為動機は女性でより高く、相手を攻撃するための性行為は男性の方でより高い、という結果が見えます。開始・終了時の関係性も最初は初対面・非恋人だが、終了時は恋人・継続的性関係になるという構造はだいたい商業と同じ結果となっています。

ただ全体的に、艦これ同人の方が「動機や関係性が描かれることが少ない」ことがおわかりでしょうか？ 一番わかりやすいのは性経験についてです。「童貞・処女の卒業」が描かれる割合は同人側で少なく、かわりに「開始時に継続的性関係になっている」割合は同人側で高くなっています。これは、同人誌が商業誌よりも限られたページで物語を描いているためであると考えられます。つまり「なぜその二人は関係を持っているのか」という馴れ初めや、「処女を捧げるくらい気持の高ぶり」などの心理描写を入れてしまうと話が長くなってしまいうため、「とりあえず二人は恋人だよ」と設定してしまった方が紙面を節約でき、そのキャラクターの性描写に力を入れることができます。そこにはページ増から来る経済的・時間的負担もあるでしょうが、同人作家、そして同人読みの「ストーリー」ではなくてキャラクター重視」という姿勢を見て取ることも出来るでしょう。商業……ということかオリジナルと二次創作を分けるポイントは何を重視するか、というところに現れるのかも知れません。

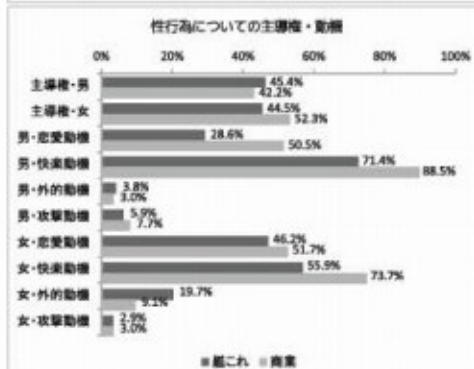
キャラクターの性経験について→

商業でも「処女>童貞」だが艦これ同人ではよりその差が大きい。これは「提督」というある意味無個性なキャラより、艦娘というキャラクターを描きたいからこういった形になると推測。



←外の立場の人間が見た時の社会的立場の差

「提督と艦娘」という関係性が多く、社会的には男性の方が強い、というパターンが最も多くなる。敵対関係については「深海艦艦に捕らえられてからの触手」的なパターンと「敵提督に犯される」などのパターンが見られた。



←性的行為に対する動機

動機については重複ありで「恋愛」している相手と「快楽」を得たい、という場合は動機を2種とも集計。商業に比べて動機が描かれる割合は少なく、特に男性が恋愛動機を持っていることの提示は少なくなっている。

商業より割合が多くなるのは女性の外的動機。「秘書艦の役目だから」と職務の一環として性行為を行っていることがある。



←関係性の変化について。

こちらも重複あり。

開始時から恋人だったり継続的な性関係を得ていたりする割合は商業より高いが、終了時に恋人関係・継続的性関係だと描かれる割合は商業の方が高いが、これは同人誌で「性交後のオチが描かれずに性交フィニッシュと同時に終わる」などのパターンがあるためだと推測。



性器よりも顔の方がエロの本質？ 二次創作は序盤からエロ！だって速いんだもん！

身体の描かれ方・ページごとの推移をグラフでまとめています。まず右ページの一番上の各ページごとと身体の描かれ方のグラフでは女性の顔がほとんど全てのページで描かれていることがわかります。次に男性器・女性器・そして男性の顔、という順で描かれる割合が高くなっています。この結果は「性器よりも女性の顔を描きたい」という願望を表している、解釈も可能です。つまり、「どんな性器に挿入したいか」ではなく「どんな個性を持った女性と性行為をしたか」によってエロという生じるのではないのでしょうか。性器の消しの大小では、本質的なエロは決定できなと思います。

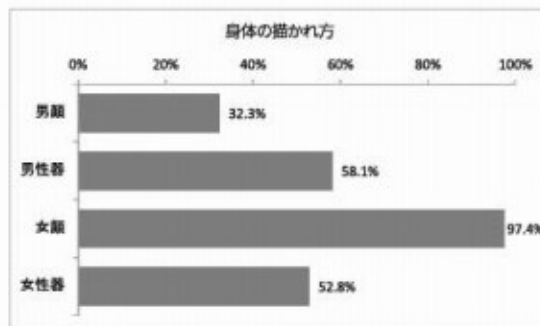
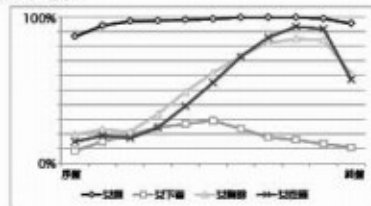
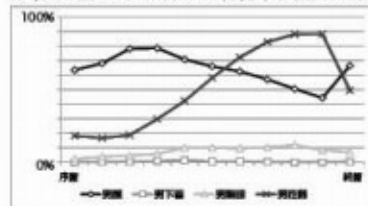
身体の出現がページの進行でどう変化しているかをその下、四分位と十分位で分けています。物語をそれぞれ4等分/10等分したときにどう出現しているかというグラフです。データ的には四分位の方が正確です。同人誌印刷は基本的に4ページ単位で行われますし、また、例えば全8ページの作品を10等分することはできないということもあり、十分位の方はやや正確性に欠けるところもあります。しかし、細かい動きを見ていくには必要だと思われ載せてあります。結果を簡単に述べると「女性の顔は終止描写されるが、男性の顔は序盤だけ。性器は終盤に向けて上がっていく」という形が四分位、十分位の双方で見えます。この形はこのページに参考として載せてある商業エロマンガの調査(2011年「エロマンガ統計S」)でも見られた形なのですが、「男性の顔は男性器と置き換わる」という特徴があります。男性器が出てくる＝性的なシーンになると男の顔は出てこない、ということに、男性の孤独感・疎外感・個性の否定を感じます。エロを読み解いていくために、この「男性の排除」は重要なキーワードでしょう。ただ、その疎外も十分位のグラフのラストでは少し回復されています。性器描写が減り、男性の顔が描かれる傾向にあり。いわゆるオチのシーンが十分位のグラフでは見えてきます。

商業エロマンガとの大きな違いは、そもそも男性の顔描写率が低いこと、また性的なシーンへの突入が早いことです。これは先ほども述べたように「ストーリーや背景はいいから早くキャラクターのエロに入りたい」という読み手・描き手の需要の表れでしょう。オリジナルでは「そのキャラがどんなキャラか」説明しなくてはならないのに対して、二次創作では設定が共有されているという前提で描けるために、ストーリーを省いて前半から性行為に入っていくということだとも考えられます。

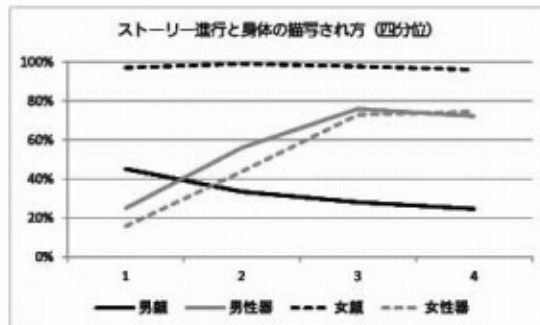
【参考】商業エロマンガの身体描写(2011年調査)

男性は中盤で顔の出現が減り性器の出現が増えていくが、女性は顔が描写され続ける。

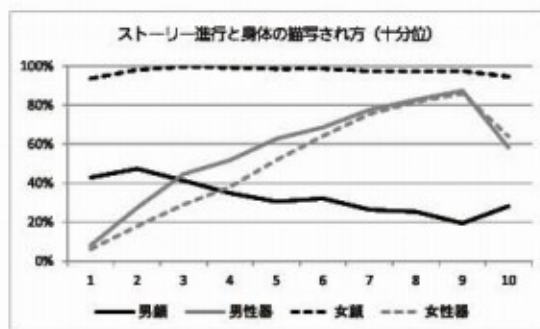
※今回の艦これ集計では「胸」「下着」の集計はしていない



←身体の描かれ方
各ページごとの身体描写。ほとんどのページにも「女性の顔」が描かれており、エロマンガにおいて最も重要なのは性器ではなく顔＝個性であると言える。



←身体の描写され方
全体を4分割・10分割したグラフ。どちらも男性の顔は序盤で男性器と交代することがわかる。また、10分割すると性器描写率が下がりオチを描いているページが検出できる。



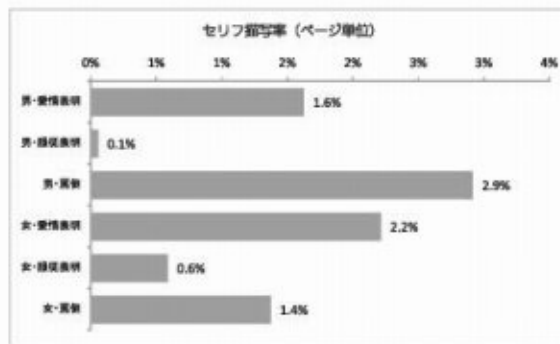


愛情表明はムードとタイミングをわきまえて終盤に艦娘に愛していると言われたい願望カッコカリ

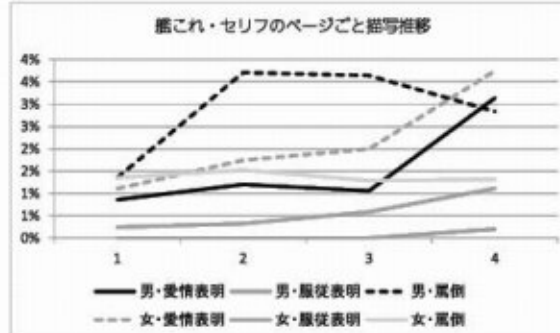
「好きだ」「愛してる」などの愛情表明、「あなたのモノです」などの服従表明、「こんな感じ方をしてるなんて無様だな！」などの罵倒といった特徴的なセリフについての集計です。これらのセリフは各エピソードで頻発するものではないため、特に右ページ上段、「セリフ描写率（ページ単位）」のグラフでは数値が少なくなっていることがわかります。そのことを前提に比べていくと、男からの罵倒が最も多くなっています。これは男からの罵倒が多くて作品で登場している、ということではなく、同じ作品の中で連続して出てくるということでしょう。例えばあるページで「連合艦隊旗艦艦娘がこんな淫乱だったとはな！」次のページで「だらしねえ願しやがって！」という様に連続して登場するということでしょう。多い作品では20ページ中16ページで罵倒が登場していました。女性からの愛情表明では多くとも18ページ中5ページとなっていて、セリフの質の違いがあることがわかります。

また描写推移について見ていきます。罵倒については中盤で伸びますが、終盤になると減ってくるという性格があります。言ってみれば罵倒セリフは「前戯」的な性質があり、そのプレイを盛り上げる傾向にあり、フィニッシュから後戯のシーンでは登場しないという性質があります。対して愛情表明や服従表明のセリフは終盤で登場しています。これは終盤で「性行為が正しかった」という評価をしているのだと考えられます。拙著「エロマンガ統計シリーズ」では「エロとは性的な状態への変化の過程で生じる」という仮説を採っていて、例えば「全裸女性が恥じらいもなく登場し性行為していく話」と「恥じらいを持った女子学生（18歳以上です）が段々エッチになっていく話」を比べた時、より一般的なエロスを生じさせるのは後者でしょう。そういった観点から見ると、これらの恋愛的・性的に「相手の色に染まった」ことを示すセリフは、女性キャラクターの変化が完了した合図でもあります。その合図によって、今回の「エロ」は正しかった、今までのページはきちんとエロかったのだと読者に提示しているとも言えます。データには表せていませんが、男性向けのエロの背景には常に「不安」があると感じています。それは「本当に性行為は快感なのか」という不安です。射精後の、いわゆる賢者モードの空しさや、射精=快楽という図式の成立を疎外していると思っています。そのため、女性キャラから「あなたの性行為が正しかった」という評価を欲しがっているのではないのでしょうか。今後もこの仮説を検証していきたいと思っています。

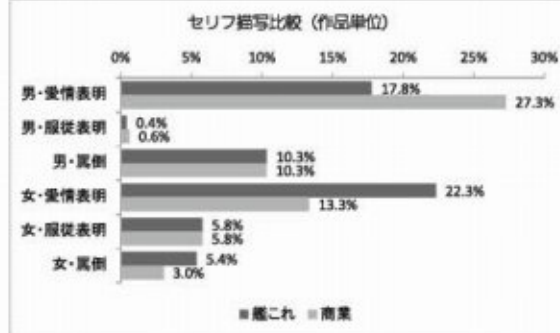
商業マンガとの比較についてですが、愛情表明以外では基本的に同じような結果になっています。男性からの愛情表明が少なく、女性の愛情表明が多いというのは、今まで見て来たように、男性キャラに対する関心の薄さと、女性キャラを描きたいという欲求に基づいているものだと考えられます。また、同人誌を買う、という状況からもこの差が説明できます。例えば、ある男性が艦これのエロ同人を買う場合、絵柄が好み、などの基準もあるでしょうが、基本的に「好きな作品・好きなキャラクター」で買う本を絞り込んでいくと考えられます。そういった意味で「自分は登場する艦娘が好き=男性キャラが登場する艦娘に愛情を持っているのは当たり前」という前提が生じ、商業エロマンガに比べて男性の愛情表明が減るのだと考えられます。要するに「〇〇（←艦娘の名前）のことは愛しているし、それはもう明確なので、この同人誌で愛されたい」という感覚でしょう。それをある意味で公式が形にしたのがケツコンカッコカリというシステムであるとも言えるでしょう。



←ページごとのセリフページ数から考えると1作品に1回あったとしても5.6%程度なので全体的に低めになっている。



←セリフの描写がページ数の四分位ごとにどうなっているののかの集計。罵倒台詞は中盤で上がり終盤で落ちる。愛情表明は終盤で伸びる。



←商業と艦これ同人でのセリフ比較。各作品ごとに集計。男性キャラ（提督）からの愛情表明が少なくなっているが、女性キャラ（艦娘）からの愛情表明はむしろ商業より多い。



提督の高角砲の対空値を上げてから夜戦に突入 (隠語) 前戯はメインではなく前菜として扱われる傾向

性行為の前戯、特に性器に触れるものを中心に集計しています。なお、「手→女性器」「口→男性器」という表記をしていますが、これは「男性の手が女性器に触れたとき」「女性の口が男性器に触れたとき」を集計していて、「女性の手が女性器に触れる」など同性愛系のものは集計されていません。また、「男性器」が女性に付いている＝ふたなりの場合でも「男性器」として集計しています（ただしふたなり艦娘が自分の男性器に触れている、という場合は「自慰」で集計し、愛撫としては集計していません）。

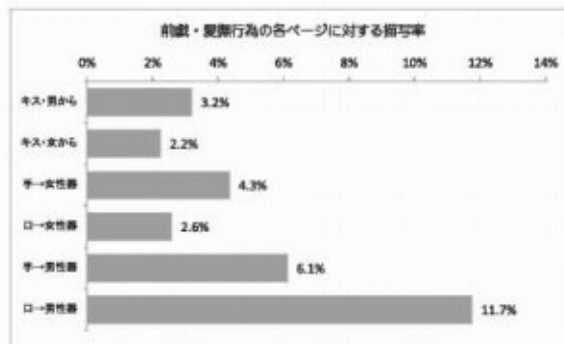
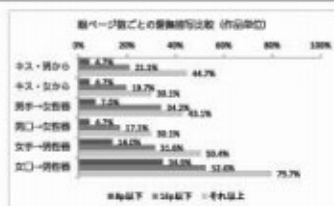
前提が長くなりましたが、上から一つずつ見ていきましょう。ページ単位の集計では、「口→男性器」、つまりフェラチオが最も多く、単純計算すると1作品に2ページ程度は描かれている計算になります。次いで「手→男性器」。フェラチオの時に手を添える、という場合でも集計していますので、いわゆる手コキだけではないのですが、こうした男性器への愛撫行為が多くなっていることがわかります。それに比べると女性器に対しての愛撫はやや少なくなっています。特に口を使った愛撫は男性器への愛撫に比べて少なく、この非対称性、一方的に愛撫を受けたい、奉仕している姿を見たいという願望は特徴と言えるでしょう。

これらの愛撫が物語のどの位置で出てきているのかの集計が中段のグラフにまとめてあります。見ていただければ一目瞭然なのですが、基本的に愛撫行為が出てくるのは物語の序盤～中盤で、終盤に向かう頃にはほとんど出てきません。もちろん、なかには「不知火さんの白手袋で手コキされ続けるだけの同人誌」などというメニアックなものもありましたが、基本的には前戯はやはり「前」戯であり、性交の前に気持ちや性感を吊ぶらせるものとして位置づけられていることがわかります。ただ、キスについてはやや性格が違い、特に男性からのキスは終盤で少し上昇しています。恋愛ものにおいて男性からのキスは愛情表明であったり、また陵辱ものでは完結の表現であったりと、愛情表明などと同じように、変化完了の合図と考えた方が良さそうです。

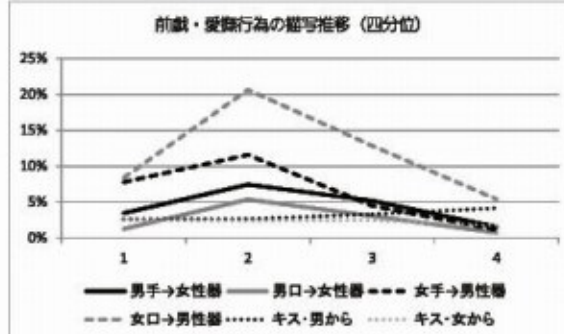
これらの前戯・愛撫について商業エロマンガと作品単位で比較してみましょう。全体的に前戯自体が描写される割合は、商業より艦これが低くなっています。これは商業よりもページ数が薄いから、ということによって説明できます。とくに4ページ・8ページといった短い作品では愛撫そのものがなく、挿入して終わり、ということも多くなっています。実際に総ページ数で比較しているのが直下のグラフですが、ページ数が多くなるほど愛撫の描写率は上がり、やはり前戯は盛り上げるための行為であり、短い作品では即挿入、という傾向が見て取れます。

ページ数ごとの愛撫描写比較→

ページ数が多くなれば多くなるほど愛撫描写が増えていく傾向にあり、短い作品では愛撫無しで挿入を描いている傾向にある。



←ページごとの前戯
先ほどのセリフと同様にページ数から考えると1作品に1ページ描写があったとしても5.7%程度



←前戯描写がページ数の四分位ごとにとりやわらわっているのかの集計
全体的に序盤～中盤に前戯が描写されている



←商業と艦これ同人でのセリフ比較。各作品ごとに集計。
「手→男性器」(いわゆる手コキ)を除いて商業エロマンガより艦これ同人誌の方が描写される割合が少ない。



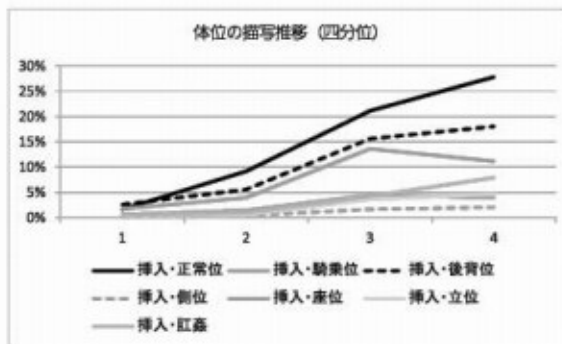
火遊びするお姉さんに騎乗位からの正常位で逆転 基本は「下から」、アクセントで「左から」

みんな大好き、挿入シーンの集計です。まずはこのページの下、性交体位の比較からご覧ください。性交体位については正常位>後背位>騎乗位>その他という形になっています。商業と大まかな比率は変わっていませんが、アナルセックスや座位についてはやや多くなっています。座位については舞台設定として「執務室」が多かった(データなし)からだと思います。艦これのゲームデザイン上、「椅子と机のある執務室」は全プレイヤーで共有できる「場所」ですから、そこを舞台にして性行為をするために座位が多いのだと推測します。

右ページ上段、体位の描写推移を見ていくと、後半に向かって上がっていくのはどの体位も同じですが、興味深いのは騎乗位の出現の推移です。騎乗位は中盤で一度盛り上がりますが、終盤で下がっています。つまり「騎乗位はフィニッシュでは選ばれにくい体位」だと言えそうです。そこには「最終的に男性が主導権をとりたい」という願望もあるのかもしれませんが。最初は騎乗位でリードしていたお姉さんに「ふうん、少しはやるじゃない…」からの「やだ！童貞に感じさせられちゃって…」と言わせる系、とでも言いますか、性的な力による下克上、相手を自分の性的な力(〜ちんぽちから)で支配する、そんな願望もあると考えます。

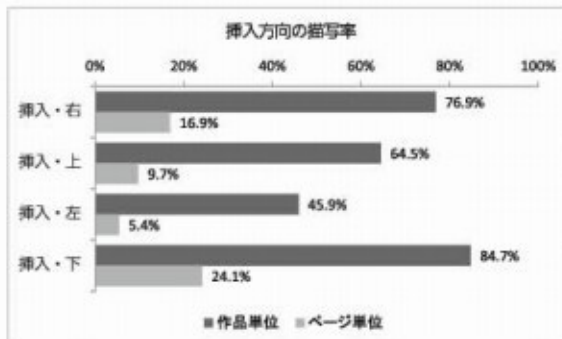
続いて性交時の挿入の方向についての集計を見ます。マンガ論などでは画面の配置には心理的な影響がある、とされています。その関係を見ていくと、男性器が下、女性器が上になっている挿入シーンが多くなっています。下からの挿入はページごと・作品ごとの両方で高く、「どんな作品にも使われ、かつ連続して登場する」という挿入方向になっています。対して左側に男性器、というパターンは特にページ単位の集計では低い値になり、「作品の中で1~2回アクセント的に使われる」という挿入方向です。推移については全ての体位で後半に向かって増えていきます。フィニッシュにむけてやや上からの挿入の割合の伸びが良いという傾向も読み取れますが、あまりハッキリとしたものではありません。全体的に見ていくと、挿入シーンは右下から左上、という流れもあるようです。マンガは右上から左下に視線が移動していきませんが、その流れに時に従い、時に逆らうことで挿入の「動き」を演出しているのかもしれませんが。詳しい分析については、多変量解析のページをご覧ください。

艦これ・商業での体位の比較→
全体的には正常位>後背位>騎乗位。商業と比較すると座位・アナルセックスが多く描かれている。座位は「執務室」が舞台になる影響か。



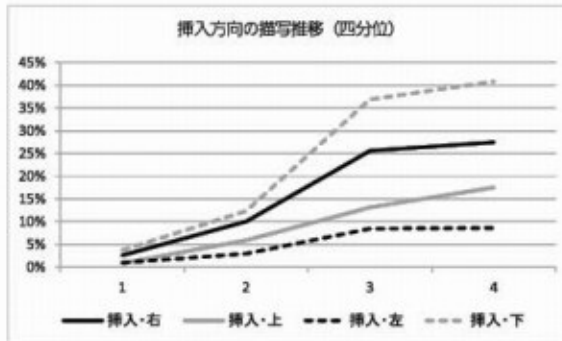
←体位の推移

後半に向けて挿入描写は増えていくが、騎乗位は最後で描写の割合が減り、フィニッシュシーンで採用されなくなっている。



←挿入方向の描写率

最も多いのは「女性を下から突き上げる挿入」。1作品に4~5ページ程度出てくる計算。対して最も少ないのは「左側から挿入する」方向。こちらは1作品1~2ページ程度。



←挿入方向の推移

方向ごとに形が大きく違うというわけではないのが、「女性に上側から挿入する」方向は終盤で伸びが良い。やや「フィニッシュ向けの方」と言える。